

長島

平成 27 年
2015
SEPTEMBER

9

広報 ながしま
Nagashima Town Public Relations

ゴールを目指して

8月22日、三県架橋建設促進・長島町町制施行10周年記念事業 第30回カヌー長島海峡横断大会が開催され、選手ら46人が参加しました。(関連記事＝P 5)



No.114



蔵之元郷土芸能保存会



指江子ども会育成会



鷹巣種子島鐘踊り保存会



城川内郷土芸能保存会

引き継がれる伝統

御八日踊り

御八日踊りの由来・・・
御八日踊りは、1565年3月、野田領主島津忠兼が、城川内の堂崎城主天草越前正を攻め滅ぼし、島津領としましたが、同年旧暦7月8日、甥の出水領主島津義虎に出水城で謀殺されました。その後、長島全土に悪疫が流行したため、島民はこれを忠兼のたたりとして、その霊を慰めるために、若宮神社に忠兼の御霊を祀り、毎年旧暦7月8日に大祭をして、踊りを奉納するようになりました。

8月8日、本町の伝統行事である御八日踊りが、町内の神社や集落で奉納されました。
同日は、各神社で神事が執り行われた後、各地区に伝承されている鉦踊りや棒踊り、種子島踊り、手踊りなど多彩な踊りが奉納され、町内の雰囲気は祭り一色となりました。
島津忠兼公が、謀殺されてから、450年という節目の今年は、21の地区から31の団体が踊りを奉納。年々、継承者が少なくなり、伝統芸能を保存していくのは難しくなっています。各保存会の努力によって、伝統の灯は守られています。



長島の夏を満喫！ブリのつかみ取り大会・ビーチバレー大会！



「サマーフェスティバルinながしま2015」の第2弾として、8月2日、あづま海水浴場で、「ブリのつかみ取り大会」と「あづまCUP2015ビーチバレー大会」が開催されました。
台風の接近に伴い、7月26日から同日へ延期となったブリのつかみ取り大会には、町内外から200人が詰めかけました。周りからの声援を受けながら、参加者らは4kgを超える大物を捕まえようと奮闘。会場は大いに盛り上がりました。
同会場内の砂浜で行われたビーチバレー大会には76チームが出場しました。選手は、強い日差しの中8つのコートで、熱い戦いを繰り広げ、大粒の汗を流していました。砂浜のコートをものともせず、強烈なアタックにレシーブとハイレベルなゲームが展開されました。大会の結果は、次のとおりです。
優勝 チームゆうき（出水市）
2位 ブラックサンダー（伊佐市）
3位 CRAZY FIVE（鹿児島市）

本町出身の高校生全国で活躍

本町出身の高校生たちが、この夏、全国で活躍しました。

築地瑠偉さん（長島中学校卒）は、鹿児島実業高等学校野球部の5番キャッチャーとして甲子園に出場しました。

8月17日、町長に表敬訪問した築地さんは「甲子園も100年、鹿児島実業も100周年という節目の年だった。プレッシャーがあった中で、しっかりと自分たちの野球ができ、甲子



↑築地瑠偉さん（南日本新聞社提供）

園に出場できて良かった。2回戦で負けはしたが、甲子園はとても楽しかったと話しました。

陸上では2人が全国高等学校総合体育大会（近畿総体）へ出場しました。

崎野優介さん（国分中央高等学校・長島中学校卒）は、やはり投げで57.96を記録し、鹿児島県大会で見事優勝。南九州予選

でも入賞し、近畿総体へ出場しました。

久保亜美さん（出水中央高等学校・川床中学校卒）は、800メートルに出場し、近畿総体予選では、自己ベストとなる2分12秒96を記録し、準決勝へ出場しました。

今後皆さんの更なる活躍を期待します。



↑久保亜美さん（写真中央、南日本新聞社提供）



↑崎野優介さん（南日本新聞社提供）

小・中学校 統合・再編 No.3

長島町立小・中学校の統合再編にかかる3回目の意見交換会が8月21日、開発総合センター会議室で開催されました。今回は、7月の意見交換会で持ち帰って検討した内容について、再度、町長部局と教育委員会による協議が行われました。

教育委員会からは「よりよい教育環境を整えることを念頭に置くと、中学校1校、小学校4校に統合再編することが望ましい」という基本的な姿勢は変わらない。さらに、今後も児童生徒数は減少することが考えられ、将来的には小中学校一貫校として同一敷地内に設置することも念頭に置くべきである。アンケートについては、方法や結果の取り扱いについて、よほど慎重に考える必要がある」との考えが示されました。

一方、町長部局からは「中学校を1校に統合再編する場合、場所について複数の考え方があ

り、早急に方向性を示すのは難しいのではないかと。まずは2校に統合再編してはどうか、との声もある。アンケートについては、子どもを持つ親の声を確認する手段として実施したい」との考えが示されました。

小・中学校の統合再編については、複式学級の解消が急がれるという認識で一致し、保護者の理解を前提として、統合再編を推進していくことでまとまりました。

以上のような協議を行い、次のような方向性が確認されました。

1. 複式学級の解消について、保護者の理解を前提に推進していく。
2. 中学校1校、小学校4校への統合再編を推進していくが、段階的な統合再編や中学校1校、小学校1校の小中学校一貫校などについても研究していく。
3. PTAなどとの意見交換会については開催の方向で調整し、アンケートの実施については、方法や結果の取り扱いについて慎重に検討していく。

小・中学校の統合再編については「子どもたちのために、よりよい教育環境を整備する」とことを大前提に、今後も協議を進めていきます。

次回は9月に開催を予定しています。

長島町町制施行10周年記念事業

子どものための科学の祭典 ～小惑星「長島町」命名記念式典で開幕～

8月22日、23日の2日間、町開発総合センターと総合町民体育館で「子どものための科学の祭典・長島2015」が開催されました。

祭典は、小惑星「長島町」命名記念式典で開幕しました。

この小惑星（14850）は、天文家の渡辺和郎さん（札幌市）らが1989年に発見し、今日まで固有名が付けられていませんでした。しかし、元JAXA職員の寺門邦次さんの仲立ちで、「Nagashima」(長島町)と命名、国際天文学連合に登録されました。



↑認定書を手にする渡辺和郎さんと川添町長



↑洗濯のりと水・ホウ酸水を使ったスライム作り

三県架橋建設促進・長島町町制施行10周年記念事業

第30回カヌー長島海峡横断大会

児童・生徒の健全育成と、島原・天草・長島間の三県架橋構想の実現に向け気運を高めるための活動の一つとして、第30回カヌー長島海峡横断大会が8月22日、開催されました。

今回は、三県架橋構想で架橋の経由地である熊本県天草市、長崎県南島原市の児童生徒ら14人も初めて参加。さらに、熊本県玉名市、与論町からも8人が加わり、本町の児童生徒24人と合わせて46人が、ゴールの蔵之元港を目指しました。



↑約2時間かけて無事にゴール！

↑牛深ハイヤ橋を背にゴールを目指す選手ら

町内全域で被害、台風15号



根元から倒れたセンダンの木（平尾小学校）

8月25日未明から本町を襲った非常に強い台風15号により、町内各地で多くの被害が出ました。

25日の午前3時30分、黒之瀬戸大橋と伊唐大橋に通行規制（歩行者・二輪車通行止め）がかけられ、その10分後には風速25メートルを計測し、全面通行止めとなりました。

午前5時50分には橋の通行規制が解除されましたが、この2時間弱の間に、強風・大雨による被害が数多く発生しました。

倒木による被害

今回の台風で、最も報告件数が多かったのが、強風による倒木の被害でした。倒木により道路が遮断されたり、電線の切断、家屋の一部損壊など多数の被害報告がありました。

家屋・施設の被害

強風による飛来物で、住宅や公共施設の窓ガラスが割れるなどの報告が数件ありました。倉庫などの建物倒壊の報告も数件ありましたが、幸いにも人的被害はありませんでした。



風雨によるがけ崩れ（白瀬港臨港道路）



陸揚げしていた船も強風で倒される（潟集落）



大きな杉の木も根元から倒れ道路を遮断（菅牟田宮ノ浦線）

停電による影響

25日の午前3時30分頃から始まった停電は、本町のみならず、出水市、阿久根市などの広域に渡って発生しました。25日の昼過ぎに復旧した地域もありましたが、27日の夜まで時間を要した地域もありました。

このほか、停電の影響により一部の地域では断水も発生しました。

避難所の開設

町では24日の午前10時に災害対策本部を設置し、午後5時に避難所を開設しました。避難所には、最大95世帯130人の町民が避難しました。



台風が去った25日早朝から、長島町消防団（諏訪義則団長）と長島町建友会（福山義弘会長）は倒木や土砂の撤去など迅速に作業を行い、道路の通行止めなどが早期に解消され、災害復旧に尽力しました。

長島町建友会の福山義弘会長は「災害時は、町との協定に基づいて、各地区の会員が道路などの点検を行い、早期の復旧を心がけています。少しでも町民の役に立てれば幸いです」と話しました。

「黒之瀬戸大橋の通行止め」情報も配信します「登録制メール配信サービス」

をぜひご利用ください

1. 配信情報

黒之瀬戸大橋通行規制情報、気象情報、地震情報、避難に関する情報など

2. 登録方法

① 空メールを送信

QRコードを読み取り、空メール（件名、本文不要）を送信してください。QRコードが読めない場合は「bousai.nagashima-town@raiden.ktaiwork.jp」へ空メールを送信してください。



↑ QRコード

※迷惑メール防止機能をお使いの方は、登録する前に「nagashima-town@raiden.ktaiwork.jp」からのメールを受信できるように許可設定してください。できない場合は、各携帯会社販売店へお問い合わせください。

② 仮登録完了メール受信

「メールサービス本登録のご案内」というメールが届きます。メール末尾記載の「以下のURLから一週間以内に本登録を実施してください。」で指定されたURLに接続してください。

③ ユーザー情報登録画面

ユーザー情報登録の「次へ」へ進んでください。

④ 設定内容の確認画面

登録内容の確認画面が表示されます。よろしければ「登録」ボタンを押してください。

⑤ 登録完了画面

登録の完了画面が表示され、数分以内にメールサービス登録完了名のメールが届きます。このメールには、登録内容の変更・配信解除用のURLが記載されています。

※パケット通信料は自己負担となります。

「長島の感性を磨く旅」 研修報告

7月31日から8月4日の5日間、東京く山梨県清里く長野県川上村・小布施町く石川県能美市・氷見市のさまざまな「まちづくり」を視察しました。

「地方から価値を作る」ためにはどうすればいいか。川添町長、井上副町長、町議会、東町漁協、商工会、鹿兒島相互信用金庫、役場職員ら20人が参加した「長島の感性を磨く旅」の概要を報告します。

市・民・立・美術館

東京おもちゃ美術館

東京おもちゃ美術館は、認定NPO法人日本グッド・トイ委員会が、2007年に廃校となった新宿区立四谷第四小学校の校舎へ移転・運営している美術館です。体験型ミュージアムとして、年間約12万人以上の来館者を迎えています。

今では、成功している当美術館ですが移転当初は、さまざまな課題を抱えていました。しかし、次のような工夫で解決してきました。



↑東京おもちゃ美術館

- ・「初期費用約1億円」の調達
- ・「一口館長」制度を設立し、多くの市民から少額の寄附を募る仕組みを整備。寄附者には名前入り積み木の永久展示といった特典を付け、寄附しやすい環境の整備。
- ・「設立応援債」という一口50万円からの公募債を設け、理事や知り合いなどから募集。
- ・「一口館長」制度で信頼を得、金融機関からの「借入」の実施。
- ・「運営費用」の捻出
- ・収入増⇨入館者増のために、平日の入館者増に着目。赤ちゃんにターゲットを当てた「赤ちゃん木育ひろば」を整備。また、積極的に幼稚園、保育園の遠足を誘致。
- ・体験型ミュージアムゆえに「ヒト」の存在が重要なことから「おもちゃ学芸員」システムを導入。通常のボランティアスタッフよりも負担の大きい資格制度のような形をとり、高い意識を持つ

人のみを募集し、人件費を抑えた質の高いスタッフの確保。

このように、当美術館は「一口館長」制度によるお金の寄附と、おもちゃ学芸員の「時間の寄附」という「ヒト」の寄附により成り立っていることから、「市民立美術館」とうたわれています。

清里・萌木の村

山梨県清里は八ヶ岳の南麓に広がる高原地帯であり、開拓によって開かれた土地です。戦後には観光業振興の影響を受けて発展し、昭和50年代に「清里ブーム」が起り、関東圏から多くの観光客が訪れました。押し寄せる観光客目当てのペンションや店舗が乱立しましたが、バブル崩壊が起きるとブームが沈静化。最盛期に作られた店舗の閉鎖が相次ぎ駅前通りは閑散とし皮肉にも「廃屋通り」と呼ばれるまでになりました。当時は40件あった民宿も現在は1軒も残っていません。



↑パリ博覧会の名作「リモネール 1900」

で、そのようにして残った記憶は、少なからずその後の未来に影響を与えます」と言われました。

「CDやカーステレオなどから経由して録音された音」と「実際に聴く生の音」は、全く別物であるということ、確かに私たちはCDで聴く音楽に拍手はしないという話でした。

サシが必要。価値を作れる人が価値を作れない人を支配する。言わば価値の創造者が勝ち組なのだ」という哲学を持っているからです。それは清里開拓の父であるポール・ラッシュユ氏の「Do your best, and it must be first class（最前を尽くせ。しかも一流であれ）」という言葉を実践した結果の賜物であると感じました。

卒業生がこの学校で結婚式を挙げるのを夢見て

川上村立川上中学校は、「川上村は、レタスなどの野菜栽培だけでなく、林業も村の柱。レタス栽培が盛んになる前は、住民の多くが林業で生計を立てていた。その林業の文化を、子どもたちに伝えたい。」という願いのもと、「川上村産の唐松」を中心に造られた校舎で、次のような特徴がありました。

サービスに通うお年寄りなど、村民の憩いの場としても利用できる公園広場を整備。

・村有林交換プロジェクトによる、大桑村のヒノキ、根羽村の杉、そして川上村の唐松が交流の証として、ランチルーム横に配置。



↑村産の唐松で造られたランチルーム

船木氏は、清里の急激な開発と没落を全て目の当たりにしながらも、清里を本物のホスピタリティと感動を与えることができる地域文化のある観光地にするべく、人材育成やバレーコンサートの開催など地道に独自の活動続け、流行に流されず地元の活性化に貢献しています。

また、夜は「清里フィールドバレー・コンサート」を鑑賞しました。これは、船木氏が「田舎にいても本物の芸術に触れて感動してほしい」という願いのもと、1990年から始めた野外での本格的なクラシックバレー公演です。「田舎だからと二流ダンサーだけでは必ず飽きられる。一流のメンバーで開催したい」という信念と、「清里でしか見れない、清里の自然を最大限に生かしたい」という熱い思いから始めたこの公演は当初、30人程度の観客しか集まりませんでした。回を重ねるごとに観客は増え、入場者数8500人にも上るなど、世界でも類を見ない屋外バレー公演にまで成長しました。その日の夜は、実際にフィールドバレーを鑑賞し、「一流の芸術に触れて人は感動する」機会を持つ大切さを実感した夜となりました。

・エコスクールの認定を受け、文部科学省、NEDO、林野庁、長野県、国土交通省から補助を受けた複合多様な施設。

・2005年の愛・地球博に出展されたグローバルコモン2に展示されたオブジェ（作品名：プレイヤーエイリアン）やカナダ館で使用されたダグラスファー（米松）の寄贈を受け、生徒のみならず保育園児やデ

村産の木材をふんだんに使った、ランチルーム。ドイツ製のパイプオルガンを設置している音楽室で、将来、卒業生がここで結婚式を挙げてくれるのが夢だと藤原忠彦川上村長は話していました。



↑船木上次 村長

マにも登録されている船木上次村長が、昭和46年に清里で初めての喫茶店「ロック」をオープン。現在は地ビールや八ヶ岳山麓の畜産加工品の販売所もありますが、一流ホテルのシェフの舌を唸らせた『ロックカレー』が有名なところ です。

船木氏との面会までの間、施設内にあるオルゴール博物館「ホールオブホールズ」で1900年のパリ博覧会時に出展されたパイプ式のオルゴールなどの演奏を聞きました。現在でも丁寧に入力されたオルゴールが動く事に驚き、迫力のある音と各器官が動き連動して発音する仕組みにただ感動するばかりでした。



↑パイプオルガンも設置している音楽室



↑プレイヤーエイリアンが迎える川上中学校



↑高校体育館を改修した氷見市役所



↑ひみ漁業交流館「魚々座」

地方創生における「ぶり奨学金プログラム」の研究と推進に係る覚書の締結

8月3日、氷見市役所で、本町と氷見市、慶応大学SFC研究所の三者共同で、「ぶり奨学金」を中核とした「ぶり奨学プログラム」を構築する覚書の締結が行われました。

「氷見の寒ブリ」と「長島町の養殖ブリ」、若者の人口流出という共通の課題を抱えていることから、本町の地方版総合戦略策定副委員長で氷見市の総合



↑覚書を交わす川添町長と本川祐治郎氷見市長（中央）、玉村雅敏慶応大学教授（右から2番目）

旧高校体育館を改修した庁舎 氷見市役所

氷見市の本川祐治郎市長は、「喜ばれない道路、使われない公園、求められない品質の施設を造っても意味がない。まちづくりは『ハードからソフトへ』、ソフトからハードへ」変わってきている認識が必要だ」と話されました。

いた庁舎です。総事業費は約19億4千万円で、新築で見込まれる額と比べると約10億円費用を抑えることができました。また、体育館のフラットで広いスペースを利用して壁を取り払い各課を配置し、状況に応じ自由に配置変えができるようになっており、非常に機能的な造りとなっています。

漁具などに実際に手で触れることができるようになっており、当日も夏休みの子供たちが喜んで漁具を触っています。さらに施設の中では、魚の捌き方や魚を使った料理教室を開けるスペースもあり子供たちや都市部の人たちとの交流の場として有効に活用されていました。

戦略策定にも携わっている慶応大学の玉村雅敏教授の助言のもと、子育ての負担軽減や若者の定住促進を目的に、高校、大学在学時に奨学金を支給し、卒業後、町に在住すれば返済を免除することを想定した「ぶり奨学金」創設のための、財源の枠組

みを共同で研究することとなりました。

締結式終了後、本川氷見市長は「この奨学金が人口の流れを変えるうねりとなるよう期待したい」と、川添町長は「氷見市と共に一日でも早い制度の確立を目指したい」と話しました。

川上村は、標高1100mから1500mに位置する立地条件を生かし、レタスや白菜などの高原野菜を中心に発展を遂げてきました。特にレタスは日本一の生産量を誇り、夏秋レタスにおいては、全国生産量の約30パーセントを占めています。

指していることから、川上村の農業後継者の定着率は高く、全国平均を大きく上回る数字となっています。

「協働」と「交流」小布施町

小布施のまちづくりは先人たちの積み重ねや町の特徴や強みを守りつつ行われていました。栗などの果樹栽培を中心とした「農業立町」、また、文化遺産を生かした「文化立町」としてのまちづくりが大きな二大柱を掲げ、人口政策として宅地分

譲を過去に行っていました。この時、以前からの住民と移住してきた住民の間にはほとんど問題が起きることもなく融合されました。この結果、町民一体となった町づくりが実現できたということです。

また、町民主導のまちづくりを大切にしており、行政は町民力が最大限に発揮できるように仕組みをつくり、知ってもらい活用できる環境を整えるため、町外企業や専門機関、地域間交

日本一小さい専業農家「風来」

店主 西田栄喜氏

石川県能美市にある、サッカーコート半分の面積（約30a）の畑と、小さなハウス3棟で、年間1200万円売り上げる専業農家「風来」を視察しました。

「風来」の店主、西田栄喜さんによると、農業を始めたきっかけは、キムチを売ろうと思ったことが「風来」の始まりというものでした。

「風来」では、自然栽培・無

農業・無肥料を基本とし、命の価値観の高い野菜を作ること第一に生産していました。年間50種類以上の野菜を生産することにより、リスクを分散し、それを販売するにも成功・失敗の過程を正直に公開することで買い手に安心を与えていることでした。安心・安全が求められる今の時代、作る過程を公開し、消費者に需要を促すこともひとつの戦略であり、また消費者も買うリスク、食べるリスクを少しでも軽減できる良い方法だと思いました。

作った野菜の販売方法としては、インターネット販売を主にし、フェイスブックなどのSNSを活用し、宣伝広告を行っていました。

野菜単品の販売ではなく、地元産の肉やドレッシングなどと、合わせ売りすることにより付加価値を付け、売上額の底上げを図っています。



↑市村良三小布施町長の案内で、小布施のまちづくりを見学

流といった場づくりを実施していました。これが、人と人のふれあい（出会い）となり、町の魅力の発信に繋がっているように感じました。

視察研修した小布施町立図書館「まちとしょテラソ」で町長からの話を伺っている時間でもでしたが、実際に町なかを歩きながらの話や地元のかたがたとの会話はとても魅力的でした。



↑「風来」店主 西田栄喜氏

平成27年国勢調査が実施されます

国勢調査にご理解をお願いします。



国勢調査 2015

9月上旬から調査員がお伺いし、配布します。

「インターネット回答する世帯」



インターネット回答利用案内封筒

「紙の調査票で回答する世帯」



調査書類収納封筒

- インターネットの回答期間（9月10日～9月20日）
- 紙の調査票の回答期間（10月1日～10月7日）
- 記入いただいた調査票は、調査員が訪問しますので提出してください。（郵送による提出は、今回実施していません。）
- 調査票には、あなたの世帯の世帯員をみれなく記入してください。
記入する内容（基準日：10月1日）
 - ①世帯について ②住まいについて ③仕事について
 - ④就業・通学について ⑤勤め先・事業・仕事の内容について



※国勢調査をよそおった「かたり調査」にご注意ください。

労働力調査にご理解をお願いします

◎調査期間 平成27年10月～平成28年1月 ◎対象地域 浜瀬地区

労働力調査は、我が国の失業率や雇用の実態を明らかにする重要な統計調査です。

総務省統計局が鹿児島県を通じて毎月実施しています。

対象は、統計的な方法に基づき無作為に選ばれた世帯の15歳以上の方です。

調査対象に選定された地域の皆様のお宅に統計調査員が伺った際には、

調査へのご回答をお願いします。

◎問い合わせ先 役場企画財政課 ☎(86) 1134 [直通]

でんぶん用サツマイモの計画出荷に努めましょう！

本町のサツマイモは、青果用、加工用、焼酎用、でんぶん用と多くの用途に仕分けられています。

そのような中、今年5月に赤崎のでんぶん工場が操業を休止することになりました。

町は、JAや県地域振興局などと協議を重ね、今年生産されたでんぶん用サツマイモの出荷先を、阿久根市協本の「日本澱粉三笠工場」と南九州市知覧町の「JA南薩拠点霜出澱粉工場」の2カ所とすることにしました。

今後は町外への出荷となるために、より厳選されたでんぶん用サツマイモの出荷が求められます。

サツマイモの収穫時期は、他の農作物との作業が集中する時期ですが、良質なでんぶん生産のためには、計画的な出荷が不可欠です。

これからも、本町のでんぶん用サツマイモの生産を安定して続けるためには、農家のみなさん一人一人の心がけが必要ですので、以下のことに留意して今後の作業を行いましょう。

①作業計画の検討

9月から11月まではサツマイモの収穫だけではなく、ジャガイモの植え付けや水稻の刈り取りなどさまざまな作業があります。天候も考慮しながら余裕のある作業計画を立てましょう。適期作業が行えない場合は、臨時雇用などの確保を早めに行いましょう。

②計画出荷の励行

収穫前には、集荷団体などと協議を行い、出荷計画を作成しましょう。収穫出荷は、作成された出荷計画に応じて行い、変更があった場合には早めに集荷団体に連絡してください。出荷計画を超えた出荷がある

と、工場での保管期間が長くなり、腐敗等によるイモの品質低下が発生するとともに、工場での作業効率が悪くなります。このことにより出荷量の歩留まりが悪くなり、収入の減少につながります。

③ほ場選別の徹底

「でんぶん用はどんなイモでも入れていい」という考えは間違いです。出荷規格は「腐敗の

ない75グラム以上のイモ」です。ほ場での選別を徹底し、規格外イモの混入を防ぎましょう。特に腐敗イモの混入は、輸送中や保管中の品質低下の原因となりますので、絶対行わないようにしましょう。

計画出荷の励行や、選別の徹底については、でんぶん用のみならず、加工用や焼酎用でも同様です。本町農業の基幹品目であるサツマイモの産地を維持するために、良質生産と計画出荷に努めましょう。

◎問い合わせ先

役場農林課農政係
☎(88) 5670 [直通]



自衛官募集

防衛省では、次のとおり自衛官を募集します。

○受験資格、受付期間、試験期日

	受験資格	受付期間	試験期日
高等工科大学校 (推薦)	男子で中卒（見込含）17歳未満の、成績優秀かつ生徒会活動等に顕著な実績を納め、学校長が推薦できる人	11月1日（日）～12月4日（金）	平成28年1月9日（土）～11日（月）のいずれか1日を指定
高等工科大学校 (一般)	男子で中卒（見込含）17歳未満の人	11月1日（日）～平成28年1月8日（金）	1次:平成28年1月23日（土）

◎問い合わせ先

役場総務課 ☎(86) 1111[代表]

自衛隊鹿児島地方協力本部 薩摩川内出張所 ☎0996(22)2401

町制施行10周年・第60回特別事業

写真展「長島一周駅伝60年のあゆみ」

写真などの借用について

11月21日（土）に開催される長島一周駅伝競走大会は、今回で60回目を迎えます。記念すべきこの大会と併せて、町では写真展「長島一周駅伝60年のあゆみ」を企画しました。この写真展では、これまで選手として大会に参加されたかた、選手として走った家族を応援したかた、沿道で長年応援をされてきたかたがたから、長島一周駅伝にまつわる思い出の写真などの、展示を行います。

1. 募集するもの
大会にまつわる写真・資料
※大会初期の頃の写真・資料が特に希少です。
お持ちの方は是非お貸しください。
2. 写真募集期間
平成27年9月16日（水）
～10月16日（金）
3. 提出場所
長島町教育委員会社会教育課
（長島町文化ホール内）
4. その他
写真展終了後1週間をめぐりに写真は返却させていただきます。
5. 問い合わせ先
長島町教育委員会
社会教育課 社会体育係
☎（88）6500

長島とくとくプレミアム商品券抽選会

第1弾は314本の豪華賞品

本町の地方創生関連事業の一つとして販売された、長島とくとくプレミアム商品券の抽選会が、9月4日、長島町商工会で行われました。今回の抽選会は、1等から7等の計314本の豪華賞品が準備されました。

- 当選番号
- 1等 50型液晶テレビ（3本）
0003606
0002364
0004478
 - 2等 背負式草刈り機（5本）
0003401
0002442
0009328
012165
003913
 - 3等 ゲーム機（2本）
011585
008376



抽選結果の確認および商品の引き渡しは長島町商工会で行っております。引換期間は9月14日（月）から10月30日（金）までとなっております。また、第2弾の抽選会は、12月中旬を予定しています。

主な抽選結果は次のとおりです。4等以下の結果につきましては、各家庭に配布いたします。

町長動静 8月

1日～4日	先進地研修（長島の感性を磨く旅） 総合戦略説明会（役場）
5日	町村会理事会 市町村長防災研修会 土改連理事会 地方創生県内市町村長意見交換会 （鹿児島市）
6日	御八日踊り 道の日ボランティア出発式 （町民体育館駐車場）
7日	町長相談 マイナンバーセミナー 民生委員委嘱状交付式 認定農業者認定証交付式 （指江庁舎）
8日	町長相談 離島行政懇談会 町村長県外研修 出水地域開発促進協議会による北薩地域振興局への要望 （薩摩川内市）
9日	科学の祭典 （町民体育館）
10日	三県架橋建設促進・町制施行10周年記念第30回力ヌー長島海峡横断大会 （牛深・蔵之元）
11日	後期高齢者医療広域連合臨時会（鹿児島市） 保証協会監事会 （鹿児島市）
12日	子宝祝い 長島町国保運営協議会 （町民体育館）
13日	JFA設立意見交換会 地域医療を考えるシンポジウム（出水市） 町商工会夏まつりチビッ子広場 （町民体育館駐車場）
14日	町長相談 決算審査報告 （指江庁舎）

町立図書館おすすめ

BOOK

図書館においてある本の中から
おすすめのものを選びました。
バラエティに富んだ本を紹介します。

大相撲 誰も教えてくれなかった
見かた 楽しみかた
工藤 隆一 著



「勝負の見所」から「独特のしきたり」など、大相撲の世界とその魅力を初心者にもわかりやすく解説してあります。

もつと太宰治

太宰治倶楽部 編



昭和最後のベストセラー作家。太宰治の人間像や作品の評価について多数のエピソードを紹介。

Pick Up publication

長島文芸

Nagashima Bungai
ながしまぶんげい

明神俳句会

天草や海峡深く鳥賊釣火
帰省子におにぎり煮しめ卵焼き
海の子の艇庫開きて夏を漕ぐ
島日和岬に白き土用波
丸刈りを決めて童や更衣
よぢれたる背ナの湿布や更衣
伸び切つてでで虫空を跨ぎけり
波ぎはにしかと根を張り浜おもと
キビナゴのナマスが美味い帰省かな
家中に陽なたの匂い梅を干す
衣替いつも衣替ユニクロへ

淵脇 護
大堂 早苗
筑前 初市
二階堂 恵子
関 佳代美
迫口 君代
二階堂 妙子
山崎 加代子
大堂 正弘
坂口 静子
大堂 光幸

創生短歌会

八十も近くなりたりことごとく母の言葉が身にしみて来る
九十は大往生と人言えり確かにそれはそうなんだけど
君も電気使っているでしょうと言いつつ老は原発を弁護して来る
若い時は指がもつと長かつたずんぐりとした掌をつくづくと見る
これの世に父母おらぬこと淋し暑さ極るお盆の墓所
母よあなたをひとり残して来たときのあなたの齢にわれもなりたり
田の隅にさなえ幾束枯れ行けり補植用なれど水の届かず

竹之内 重信
村上 義彦
石原 百合子
宮元 司
野村 益信
大塚 洋子
山下 学

長島短歌会

心太の薬味にきざみし島みかん初盆の膳に香り満ちたり
父に似て細き息子も輪に踊る鉦音響き昏るるみ寺は
真夏日の続くけだるき老いの目に庭の紅薔薇いきいきと映ゆ
グワバの実の数多生りある枝枝を縫ふごと糸瓜の黄な咲きをり
海面風ぐ黒ノ瀬戸行けば渦潮は淡くまきみて朝日に光る
終戦を告げ給ふ御声重かりき七十年経ぬ李熟れてみき
湯上りに冷したるビールを飲みをれば亡夫と飲みたる日々蘇る
人住まぬ庭に野牡丹咲き満つて来秋思ひ過ぐるマナダリンロード
離れ居し曾孫よひと日待ちたるや母帰り来て笑顔に変わる
夕日差す軒端の支えに生り下がる糸瓜の影が窓に揺れおり

樗平 頼子
米尾 和子
坂之下 典子
中山タマエ
濱田美代子
松元 睦子
松枝
市尾 操
岩下 ち江
岩下 房代

一般作品

「短歌」
小浜崎白波ドドン荒れ狂う天草灘はご機嫌ななめ
ガラカブをあらかぶなどと言う人は長島あらずよその人だぞ
卯の花のつながる道を走り行きあの時兄が出迎えた道
予選より応援せし専大松戸わが在からの初の甲子園
何事も仕事するには苦にならずやると思へば過ぐ出来るなり
蕎麦喰ひしと思わば啼くよミミミ 蝉

小林 貢
小林 繁
中飯屋辰子
平木 良雄
町田 末則
宗方 清明

無料法律・登記・税務相談所を開設します

鹿児島県司法書士会、鹿児島県土地家屋調査士会及び南九州税理士会鹿児島県連合では、10月1日「法の日」にちなんだ記念事業として次のとおり無料法律・登記・税務相談所を開設します。

○日時
平成27年10月3日（土）

○場所
長島町文化ホール
いこいの部屋1・2・3

○相談員
司法書士、土地家屋調査士、税理士

○受け付ける相談の範囲

- ① 土地建物の登記に関する事
- ② 土地の地積、分筆、測量、境界に関する事
- ③ 会社の登記に関する事
- ④ 所得税、贈与税、相続税、その他税務一般に関する事
- ⑤ 遺言など
- ⑥ 成年後見手続き
- ⑦ 裁判手続や裁判所に提出する書類の相談など
- ⑧ 消費者金融問題、架空請求問題

「飲酒のことで悩む家族のつどい」の開催

飲酒問題の解決の第一歩は、アルコールの影響や依存症について正しく知ることです。

出水保健所では、家族や身近なかたの飲酒のことで悩んでいるかたのつどいを開催します。

互いに学びあい、語り合ってみませんか？（この集いではプライバシーを厳守します）

○日時
平成27年10月～平成28年3月の毎月第2金曜日
（10月9日、11月13日、12月11日、1月8日、2月12日、3月11日）
午後2時～午後3時30分

○場所
鹿児島県出水保健所1階相談室
（旧鹿児島県合同庁舎内）

○内容
アルコールの影響や依存症についての学習会、座談会、当事者や家族の体験談などを予定しています。参加希望のかたは、事前にお電話ください。

※さまざまなご相談に対応しますので、お気軽にご利用ください。

◎問い合わせ先

鹿児島県司法書士会
☎099（256）0335
鹿児島県土地家屋調査士会
☎099（257）2833
南九州税理士会鹿児島県連合会
☎099（225）6148

長島町・東神楽町少年交流事業「東神楽町ウィンタースクール」参加者募集

長島町では、北海道東神楽町との少年交流事業を平成26年度から実施しています。今年度は、長島町の子どもたちが東神楽町を訪問し、北海道の冬の自然を体験して交流を深めます。

次の要領で実施しますので希望される人はお申し込みください。なお、詳細については、対象児童へ資料を配付します。

○期日
平成27年12月25日（金）～12月28日（月）3泊4日

◎問い合わせ・申込先

鹿児島県出水保健所保健係
☎（62）1636

「おくすり整理相談バッグ」って何？

「おくすり整理そうだんバッグ」は、安心してお薬を飲んでいただくために薬剤師が、お持ち頂いた飲み残しのお薬の数量、保管状況、服用状況等をチェック、古くなつて使えないお薬や、飲み間違いを防ぎます。

お薬の服用を管理し飲み残しを減らし、また、正しくお薬を飲んで頂くことにより、お薬本来の効果を提供できます。

残薬等を整理することで、患者様の医療費負担の軽減につながります。まずは、かかりつけ薬局に、ご相談ください。

平成28年度鹿児島県障害者職業能力開発校 訓練生募集
鹿児島県障害者職業能力開発校では、障がい者の訓練生を募集します。

○場所

北海道上川郡東神楽町・旭川市

○対象

小学5年生～小学6年生

○定員

20人

*定員を超過した場合は、主催者側（社会教育課）で選考します。

○参加費

3万円

○その他

各小学校を通じて対象児童に参加希望申込用紙を配付します。

○申込方法

希望者は、申込書に必要事項を記入のうえ、10月2日（金）までに社会教育課（文化ホール内）にご提出ください。

◎問い合わせ先

教育委員会社会教育課
☎（88）6500

小型船舶免許更新・失効講習のお知らせ

小型船舶操縦免許の有効期限が1年2カ月以内に切れる人および失効している人を対象に講習を開催します。

○講習日時

10月3日（土）午後2時～

○講習場所

長島町開発総合センター3階会議室

○当日持参

①操縦免許証②認印③料金は、住民票（本籍記載のもの）は、操縦免許証に住所の記載が無い場合、記載事項に変更がある場合に必要です。写真は当日撮影します。

○料金・講習時間

更新 9千円 1時間
失効 1万5千円 2時間20分
（送料・写真代を含む）

※できるだけ事前に予約してください。
※当日は、視力検査も実施します。

◎問い合わせ先

入校海事事務所
☎099（281）7753

○A日程選考日

11月6日（金）

B日程以降の選考日については問い合わせください。

◎問い合わせ先

県立始良高等技術専門学校
☎0995（65）2247

県立始良高等技術専門学校 一般入校生募集

県立始良高等技術専門学校では、平成28年度一般入校生を募集します。

○募集科目

メカトロニクス科、情報処理課

○募集人員

各科20人

○訓練期間

各科2年

○応募資格

高等学校を卒業した人、平成28年3月に卒業見込みの人
○願書受付期間
平成27年9月1日（火）～平成28年3月4日（金）
A日程の締切日は10月30日（金）
（当日消印有効）

オータムジャンボ宝くじが発売されます！

この宝くじの収益金は市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉の向上のために使われます。

1等 3億3,000万円×13本
（発売総額390億円・13ユニットの場合）
前後賞各 3,000万円×26本
（発売総額390億円・13ユニットの場合）
発売期間：平成27年9月28日（月）～10月16日（金）
抽選日：平成27年10月23日（金）



入賞者続々

南九州ブロック B&G スポーツ大会

8月20日に開催された南九州ブロック B & G スポーツ大会（熊本県津奈木町）カヌー競技の部及び水泳競技の部に町内の小・中学生が出場しました。南九州地区の市町村から多くの選手が参加する中、子どもたちはこれまでの活動の成果を精一杯発揮して競技に臨み、多数入賞しました。結果については次のとおりです。

◎カヌー競技の部

- 小学生男子 [1位] 有馬 敏暉（蔵之元小6年）
[3位] 植元 奏（鷹巣小6年）
中学生女子 [1位] 江口 美紀（平尾中2年）
[2位] 下塩見 理沙（長島中2年）
[3位] 瀬ノ口 紗恵（長島中2年）
中学生男子 [1位] 江口 春記（平尾中3年）

◎水泳の部

- 小学6年生 女子
50m自由形 [1位] 川原 綾（田尻小）
50m平泳ぎ [1位] 川原 綾（田尻小）
小学4年生 男子
50m平泳ぎ [1位] 岩元 隼人（鷹巣小）



また、8月15、16日に開催された九州カヌーアンダージュニア大会兼鹿児島県カヌー大会（伊佐市菱刈）には、夏期休業期間中開催のB & Gカヌー教室に参加している江口 春記さん（平尾中3年）、江口 美紀さん（平尾中2年）の2人が参加し、見事入賞しました。結果は以下のとおりです。

- 【普及艇の部（200m）中学生男子】
江口 春記 優勝
【普及艇の部（200m）中学生女子】
江口 美紀 3位

開花まで30年以上？！

トックリラン町内2カ所で開花

トックリランは、メキシコ東部が原産の植物で、日本では観葉植物として用いられています。非常に成長が遅く、樹齢が10年を越えるとクリーム色の花が咲きますが、幻の花と言われるほど珍しく日本で花を目にすることはなかなかできないと言われています。

8月、そのトックリランの花が、田島耕作さん（上揚）宅、山本久光さん（蔵之元）宅の町内2カ所で開花しました。

共に、30年以上前に苗木を購入。成長すると鉢を植え替え、今では露地に植え替えられていました。

田島耕作さんは「先日、亡くなった父が大事に育てていた。40数年の時を経て見事に花を咲かせ、父も喜んでいるのでは」と話してくれました。



↑ 綺麗な花を咲かせた2本のトックリラン
（写真左：田島さん宅、右：山本さん宅）

「道の日」のボランティア

空き缶拾いにガードレール清掃

8月10日、長島町建友会（福山義弘会長）が道の日にあわせてボランティア作業を行いました。

このボランティア作業には、35社から65人が参加し、出発式のあと、町内主要道路一円の空き缶拾いを実施しました。

また、建設業組合出水支部青年部による県道葛輪瀬戸線川床赤崎間のガードレール清掃も実施されました。

当日は、日差しの強い一日となりましたが、多くの空き缶が集まり、主要道路の景観向上に寄与しました。



↑ 青年部によるガードレール清掃

移動型バスミュージアム

モビウムがやってきた

8月21日、文化庁メディア芸術祭 鹿児島展の関連ワークショップとして、移動型バスミュージアム「MOBIUM（モビウム）」が長島町に来ました。

大型バスをベースとしたモビウムは、さまざまな地域・場所を移動しながら、環境音や環境光など、場所特有の情報を取り込み、動画や音楽へ再構築して見せる実験場であり、ミュージアムとなっています。

この日は、太陽の光で動く楽器を作るワークショップを開催。児童ら20人が参加し、ソーラーパネルや回路を繋いで、太陽光で動く楽器を作り、電気や回路の仕組みを楽しみながら学んでいました。

モビウムの運転手でありアーティストの河村陽介さんは「モビウムの運営を始めて10年目となる。もともと、フィールドワークが好きで、それで得たものを皆に提供できたら」と話しました。



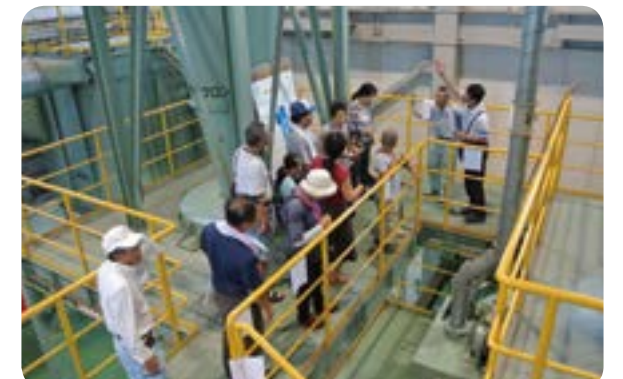
↑ 外装が黒板に加工されているモビウム号

エコリア北薩リサイクル祭り

もったいない再確認

リサイクルセンターエコリア北薩では、7月13日から8月2日の間、リサイクル祭りが開催されました。通常の見学に加え、最終日には普段は見るできない破碎設備等の見学があり、来場者は、ごみ減量やリサイクルについて理解を深めていました。

また、修理再生された自転車や家具などの抽選会や衣類、書籍などの無料頒布などもあり、多くの人でにぎわいました。



↑ 普段は見ることの出来ないバックヤードツアー

ナイススマイル・うぶ声・おくやみなどは、
個人情報保護のため掲載していません。
ご了承ください。

編集後記

▽長島の夏のイベントに追われ（追い？）、あつという間に過ぎた8月。
9月に入り、少しはゆっくりできるかなと思いがながら、広報ながしま9月号に付属するお知らせカレンダーを作成して気づかされました。「ながしま造形美術展」、「焼酎祭り」、「トライジョギング大会」、「秋の花フェスタ」、「長島古墳まつり」…そして「第30回国民文化祭かごしま2015」。激動の？長島の秋はもうすぐです。
(濱田将尚)

わがまちの
景観づくり

＊押し花のはがきづくりに
＊町内の児童が参加

8月10日（月）に川床ふれあいの郷「花カフェ長島」で押し花のはがきづくりが開催されました。

町内の子どもたち11人が参加し、講師の先生の説明の後、専用のはがきに思い思いの花を貼り付けていました。
中には、家族や友達にメッセージを書く子どもたちもいました。
参加した児童は「初めての体験で楽しかった。また参加したい」と話していました。



↑完成したはがきを手取る児童

beautiful island and a wonderful island. * *

＊ ＊ ＊

創

第2回つわぶきウォーキング参加者募集

町制施行10周年記念事業として、第2回長島つわぶきウォーキングを次のとおり実施します。

- 開催期日 11月6日（金）
- 場所 長島町総合市民体育館
- コース 13km・7kmの2コース
- 定員 1000人（定員になり次第締切）
- 参加料 1500円
（参加料には昼食代が含まれます）
- 申込期限 10月9日（金）当日消印有効
※本年度は10月17日～11月15日まで、国民文化祭「ながしま造形美術展」が開催されるため、駐車場などの都合により平日に開催します。ご了承ください。
※詳しくはお問い合わせください。



◎問い合わせ先
長島つわぶきウォーキング
実行委員会（役場景観推進課）
☎（86）1136「直通」

うぶ声

出生児 性別 保護者 住所
お誕生おめでとうございます

おくやみ

氏名 年齢 喪主 住所
謹んでお悔み申し上げます

お礼

次のかたから広報「長島」送付のお礼として、金一封をいただきました。
厚くお礼申し上げます。

DATA

平成27年8月31日現在
（ ）内は前月比

人口	10,975 (+2)
男性	5,298 (-5)
女性	5,677 (+7)
世帯	4,471 (+1)

NAGASHIMA
ながしま
造形美術展
10/17・11/15
太陽の里ピクニック広場
※会場は、10/17・11/15の両日、天候により変更される場合があります。

古代の生活に学ぶ
長島古墳まつり
10/31
長島古墳公園（小浜町フィールド）

アートの島の
玉手箱
感動の収穫
実りの島

秋の花フェスタ
in 長島
10/31・11/15
太陽の里ピクニック広場周辺

第30回 国民文化祭
かごしま2015
平成27年10.31 > 11.15

ながしま

お問い合わせ
第30回国民文化祭 長島町実行委員会
〒899-1303 鹿児島県出水郡長島町飯江1545番地（長島町文化ホール内）
Tel.0996-88-6500 Fax.0996-88-6501 E-mail: nakayoutown.nagashima.lg.jp
http://www.town.nagashima.lg.jp

鹿児島県
長島町